

センター長メッセージ

Message From Director



このたびグローバルリスク研究センターの立ち上げに際し、センター長を拝命した岩下明裕です。私はこれまでグローバルリスク研究の重要な論点のひとつ、世界中でさまざまなかたちで頻発し、かつ相互に関連しうる紛争の問題については長年にわたり、考えてきました。とくに国家間や地域における国境や境界をめぐる紛争をどのようにマネージするか、そして地域に暮らす人びとの利益になるようにどのような解決を目指すべきかについて、アカデミックな分析のみならず、実社会に適用可能なモデルの提言も含めて活動を積み重ねてきました。

いまの世界を見ると、人類が類存亡の危機を迎えつつあるのは、誰もが実感するところかと思います。他方で、目の前で人びとが息絶える戦争や災害、貧困の現場を除いて、私たちはこれをどこか他人事のような醒めた感覚も併存しているように感じます。あまりにも情報が過多で移りやすく、生き急ぐ現代世界において、その危機をじっくりと考える機会が少ないこともまた事実です。

長崎大学が新たに設置した本センターでは、わが国のみならず、世界の多くの方々に、いま私たちが直面している危機の大きさと深さを訴えていきたいと思います。センターでは、「グローバルな視点から気候変動、核・バイオ、感染症、軍事紛争、情報インテリジェンス、社会分断など多様な争点をリスクとしてとらえ、その発見と管理、処方と予防に関する総合的な研究を推進します。

長崎大学のもつこれら人文社会と科学のリソースを糾合し、文理協働のネットワークを対外的に国際水準で構築していく所存です。それとともにグローバルなリスクがどのように現場（ローカル）に影響をもたらすか、そして現場の人びとがどのようにこれらの危機に向き合うかを、市民の方々と一緒に考えたいと思います。リスクを背負うのは現場、ローカルに暮らす市民のみなさんです。長崎という地から創造するこのセンターは常に皆さんとともにありたいと思います。

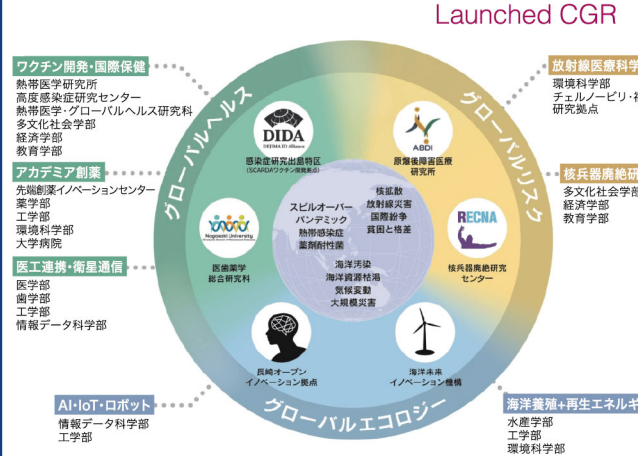
センター長 岩下明裕

センターのミッション

Our Mission

- ▶ 人文社会科学的叡智を統合し、核の使用リスクや地球環境破壊、パンデミックなど人類の存続に影響しうる地球規模のリスクに関する学際研究の推進
- ▶ 文理協働のもと国際連携や共同研究を通じて得た知見の国際社会や地域への還元・政策提言
- ▶ 次世代研究者、政策立案能力のある専門家、国際社会や地域におけるリーダーの育成を行う学際研究創設の場を形成

センター設置の経緯



長崎大学では、「人類と地球の抱える多様で相互に関連する問題群の解決に向け、学際的にその知を結集・創造することで世界的プラネタリーヘルスの実現に貢献する」ことを宣言し、「グローバルヘルス」「グローバルリスク」「グローバルエコロジー」の3つの分野に貢献する研究と教育を推進しています。この「グローバルリスク」の最先端研究の一翼を担うものとして、2024年6月1日、グローバルリスク研究センター (Research Center for Global Risk) を設置しました。

センターは学内の部局横断型の組織として、専任教員の他、グローバルリスクに関心をもつ兼務教員から構成されています。

連絡先

Contact Us

長崎大学グローバルリスク研究センター(事務局)

〒852-8521
長崎市文教町1-14 長崎大学事務局3階
TEL 095-819-2964 FAX 095-819-2040
E-mail cgr_info@ml.nagasaki-u.ac.jp
<https://cgr.nagasaki-u.ac.jp/>



WEBサイト



YouTube



長崎大学グローバルリスク研究センター
Nagasaki University
Research Center for Global Risk



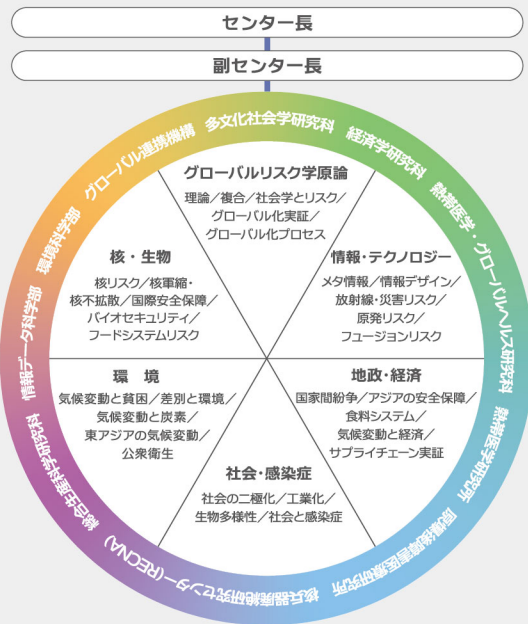
国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

長崎大学 グローバルリスク 研究センター

Nagasaki University Research Center for Global Risk (CGR)



組織図



▶ グローバルリスク学原論

グローバルリスクとは何か、それぞれの現場で起こる複合的なリスクにどのように対応するか。人文社会系の総合知をもとに研究します。

▶ 情報・テクノロジー

日々、進化するテクノロジー。現代社会を覆いつくす誤情報や偽情報。ソーシャルネットワークやAI。様々なリスクをグローバルに展開する情報とテクノロジーを読み解きます。

▶ 地政・経済

ポスト冷戦の終焉と新しい戦争の時代が始まり、国際レジームは揺らぎ、国益むき出しの経済競争も激化しています。空間を越えるヒト・モノ・カネの動きも踏まえてリスクを考えます。

▶ 社会・感染症

社会の二極化が進み、同じ国での分断が進んでいます。またコロナなどのパンデミックは旧来の社会のあり方を大きく揺さぶっています。社会をとりまく様々なリスクを医学や公衆衛生の知見も踏まえて分析します。

▶ 環境

気候変動や災害は人間の営みにどのようなリスクをもたらすのか。人間はみずからの生存のために、地球とどう向き合うべきか。文理協働のもと、グローバルとローカルなリスクについて研究します。

▶ 核・生物

世界では核兵器が再び使われることが危惧され、また生命科学技術を悪用した生物兵器の懸念も消えません。プラネタリーヘルスを脅かすこれらのリスクへの実践的な対応策を追求します。

研究活動と成果発信



グローバル化した世界では国境や社会を超える様々な巨大リスクが生み出されています。

センターでは、各ユニットの連携によるグローバルリスクにかかわる研究成果を、年1回の国際シンポジウムの開催をはじめ、様々なセミナー(対面、オンライン)を通じて発信しています。とくにオンラインのものはアーカイブ配信し、ホームページやニュースレターを通じて広くみなさまにお伝えします。

▶ キックオフシンポジウム

- 2024年12月
- プレセッション 「グローバルリスクと情報」
- セッション1 「プラネタリーヘルスを脅かすグローバルリスク」
- セッション2 「ポリクライシス(複合危機)の時代における価値の追求」

▶ CGR/SRCW美社会のための共創セミナー(共催)

- 2024年10月
- 9月 ポスト冷戦後における核兵器のグローバルリスクとは？
- 7月 核兵器不要の世界に向けて
- 7月 人類を取り巻く地球環境 ~ (プラネタリー) バウンダリーズ、ヘルス、リスク ~

▶ 長崎大学×九経調コラボセミナー(共催)

- 2025年1月
- グローバルリスクとしてのロシア・ウクライナ戦争 ~ アジア・九州へのインプリケーション ~

次世代育成と社会貢献

センターでは、とくに次世代を担う研究者や実務者の育成と、社会に貢献しうる具体的な政策提言に力を入れています。国内外の研究機関との連携を通じて、若手を長崎に招聘してのワークショップの開催、長崎ならではのフィールドワークを実施します。気候変動、核、国際紛争、社会分断、移民、島嶼問題などにかかわる様々なリスクを実務者とともにグローバルかつローカルに読み解きます。

▶ CGRセミナー

- 2025年1月 除去土壌問題を巡る社会科学的課題：多元的公正からの実証的アプローチ

▶ 参加型対話会(共催)

- 2025年1月 わたしの食事・わたしの健康・地球の健康
- 2024年9月 平和と環境-未来の地球のために

▶ 最新レポート解説イベント(共催)

- 2025年1月 「気候変動について今伝えたい、10の重要なメッセージ」

▶ 若手研究者国際ワークショップ(共催)

- 2025年3月 21st Century Borders, Mobility, and Risk in Japan

▶ JIBSNセミナー2024与那国(共催)

- 2024年10月 境界地域のなかに光をみる

